

令和元年10月18日
農業技術センター技術普及部

標 題	有機農産物の理解促進を目的に第1回食育講座を開催しました
------------	-------------------------------------

技術普及部では関係機関と連携し、子どもの頃から安心・安全な有機農産物に関心を深め、野菜に触れたうえで野菜本来の素材の味や有機農産物生産者の想いを知ってもらう機会とすることを目的に食育講座を開催しました。1回目は江津市立川波小学校5年生の児童6名が参加し、野菜の種まきを体験しました。

技術普及部では有機農産物等の生産支援と並行して、平成26年度から「環境と食べ物を考える」という食農教育の視点の一つを取り入れた消費者への食育活動を行っています。今年度は江津市有機農業推進協議会及び江津市と共催で、江津市立川波小学校の5年生を対象に、種まき・収穫・試食（給食）の3回シリーズの食育講座を計画しています。10月4日に第1回食育講座を開催しました。

はじめに、技術普及部から有機農産物について説明しました。児童たちは島根県の有機農業取組面積割合が全国でトップクラスであることや有機農産物のマークなど、身近な有機農産物について学びました。

次に、香の宮F&A大畑安夫代表が実践されている有機農業について直接教わりました。防虫ネットや害虫が好まない野菜を組み合わせた輪作で農薬を使わずに害虫を防ぐ方法を、ほ場を見ながらわかりやすく説明していただきました。

種まきは手動の機械を1人1回ずつ体験しました。児童からは「種まき機が重くて真っ直ぐ進むのが大変だった」「大きく育つと良いな」などの感想が聞かれました。また、土作りに関しても堆肥が混ざってある柔らかい土であることを実感しながら体験できました。

第2回、第3回と有機農産物への理解・関心を深めていく予定としています。



【写真 ほ場説明の様子】



【写真 種まき体験の様子】